

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170400626 | | |
| 法人名 | 有限会社ハートウオーミング | | |
| 事業所名 | グループホームあさひ | | |
| 所在地 | 〒063-0834 札幌市西区発寒14条3丁目6-16 (電話) 011-666-8977 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット | | |
| 所在地 | 〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月27日 | 評価確定日 | 平成21年3月31日 |

【情報提供票より】(21 年 2 月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 14 年 3 月 20 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 14 人 | 常勤 4人、非常勤 10人、常勤換算 3.9人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------------|--|
| 建物構造 | 木造準耐火 造り | |
| | 2階建ての1~2階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------|--------------|
| 家賃(平均月額) | 60,000~65,000 円 | その他の経費(月額) | 水光熱費20,000 円 |
| 敷 金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 250 円 | 昼食 500 円 |
| | 夕食 | 450 円 | おやつ 133 円 |
| | または1日当たり 1,333 円 | | |

(4) 利用者の概要 (2 月 28 日現在)

| | | | |
|-------|---------|---------|----------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 0 名 | 女性 9 名 |
| 要介護 1 | 0 | 要介護 2 | 4 |
| 要介護 3 | 1 | 要介護 4 | 3 |
| 要介護 5 | 1 | 要支援 2 | 0 |
| 年齢 | 平均 81 歳 | 最低 67 歳 | 最高 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------------------|
| 協力医療機関名 | 太田内科歯科 八軒循環器病院 札幌整形外科 山口歯科 |
|---------|----------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは発寒地区の中心部の一角にある住宅地に位置し、近くには商店街、学校、病院、公園などがあり、生活の利便性に恵まれている。建物は木造2階建ての1ユニットの運営である。屋内は利用者の動線と安全にきめ細かに配慮された造りになっており、清掃も行き届き衛生的である。管理者は看護職としての経験が豊かで、とりわけ利用者の健康管理に力を注いでおり、日々利用者と一緒に楽しみながら独自に考案した健康体操に汗を流している。職員の利用者への対応はゆったりとして穏やかであり、利用者はとても居心地よさそうである。またホームは「地域のためのホーム」として地域の人々向けに応急手当て等の講習会の開催や、ホーム行事への参加を呼びかけるなど積極的に地域との交流に取り組んでいる。これからも地域の人が健康で安心して暮らせるホームである。

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回評価の改善課題について次のように改善されている。職員研修について:今年度から研修計画を作成し実行することにした。また、区内ホーム連絡会における職員研修会にも参加させることにしている。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の自己評価は職員全員が評価の目的や意義を理解し、きめ細かく現状を分析・検討し、職員間の共有を図り実施している。職員の意識向上、ケアの見直しに活かした積極的な取り組みがみられた。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は定期的に2カ月に1度包括支援センター職員、民生委員、家族、職員参加のもと開催している。会議では、ホームの運営、行事、利用者の生活状況、緊急時の対応、デイサービス、ボランティア活動等が報告・協議されている。会議の様子は職員会議に報告され、日常の業務にも活かした取り組みをしている。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 苦情相談担当の配置や苦情箱の設置がある。家族の意見・要望は出来る限り取り入れ、職員会議や運営推進会議等で話し合い、日々の運営に活かしている。また、「あさひだより」を発行し利用者の生活ぶりや行事写真を掲載して家族に送るなど家族との信頼関係の構築に努めている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会に加入し祭り等の行事に参加しており、地域介護予防教室「すこやか倶楽部」に職員と共に参加している。地域の人々対象に応急手当の講習会を行ないクリスマス行事等には近隣の人々に参加を呼びかける等日常的に地域との交流をしている。 |

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 住み慣れた地域の中で「安全で快適」な暮らしができるように事業所独自の理念を策定し、日々、理念に沿ったケアを目指して実践している。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者、職員は毎月のミーティングで理念を共有すると共に運営方針や具体目標を確認しあって日々の業務に取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 祭り等の町内会行事に参加している。地域の介護予防教室「すこやか倶楽部」に職員と共に参加している。近くで同事業者が開設しているデイサービス「あさひ」と連携し、地域の人々に呼びかけ応急手当・AEDの使い方等の講習会を開催をするなど地域との交流に努めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者、職員は、内部・外部評価の意義を十分に理解している。前回の外部評価についても、その結果を踏まえていち早く改善にと組んでいる。改善事項は職員はもとより推進会議、家族にも周知している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|---|---------------------|--|
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2カ月毎に開催している。会議ではホームの運営、利用者の生活状況、ボランティアの活用などについて活発に意見交換され、これらの意見は記録し、日々のサービスの質の向上や施設面の改善など活かすようにしている。 | | |
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 区グループホーム連絡会議のメンバーに区の担当者も参加し、常にホームの運営等について意見交換をしている。また、区が主催する研修事業等についても積極的に参加している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 「あさひだより」を年2~3回発行しホームの生活状況を家族に写真入りで知らせている。家族来訪時には、利用者の生活状態や金銭管理について報告しているが、よりきめ細かく家族への連絡や確認を取ることが検討している。 | | ホームと利用者家族と関係は良好であるが「あさひだより」の発行回数の増加や金銭出納の家族印の確認等を検討していて、密度の高い連絡や確認の成果を期待したい。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族来訪時に家族が意見や不満などを話せるような雰囲気づくりに努めている。相談担当職員の配置、玄関には苦情箱も設置している。要望等についてはホーム運営に反映している。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 異動が少ないように日頃から努めている。新人職員には、経験豊かな職員との組み合わせで仕事をするようにしており異動のダメージを防ぐように配慮して行なっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 運営者は施設内外の研修会の参加を職員によりかけており働きながらスキルアップできるように配慮している。年度研修計画を作成している。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 区グループホーム連絡会に参加し、他ホーム訪問見学、合同研修会に参加するなど、互いに交流を深め合いサービスの質の向上に努めている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に本人、家族と話し合いを行い、実際にホーム見学する機会を設けて、雰囲気になじみ納得を得てからサービスを開始するようになっている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 喜び悲しみの思いを共有し、食事の用意、後片付け等を一緒に行ない共に過ごす中で互いに支え合い尊敬する関係を築いている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| <p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>職員は、個々の思いや意向を、本人や家族を通じて十分に把握している。把握困難な場合は、家族や関係者間で情報交換して本人の視点にたって検討している。</p> | | |
| <p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>本人、家族の意見要望を取り入れ、ケアマネージャーを中心にして職員全員で意見交換を行ない個々の心身状況、生活能力を把握したうえで介護計画を作成している。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>定期的に介護計画の見直しを行っている。状況変化時には変化の原因把握に努め、本人や家族の意向を聞き検討して現状に即した計画を作成している。</p> | | |
| <p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p> | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>利用者の希望するかかりつけ医への通院支援や時々々の要望に応じての外出支援をしている。デイサービス事業も併設しており多機能性を活かした柔軟な支援が行なわれている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 18 | 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>地域の医師による月1度の往診と常勤看護師により日常の健康管理がなされている。利用者希望のかかりつけ医には通院支援や投薬介助を行ない常に適切な医療が受けられるように支援している。</p> | | |
| 19 | 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>事前に本人や家族の意向を聞き事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、医師、看護師、職員を交えて話し合い、方針を共有している。書類による家族の確認をとり終末期の看取りも行なっている。</p> | | |
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 20 | 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>利用者の誇りを大切にして言葉かけや対応に配慮している。個人情報については書類管理等に細心の注意を払い適切に行なっている。</p> | | |
| 21 | 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>ホームとしての1日の流れはあるが、利用者一人ひとりの気持ちを把握し、体調に配慮しながらできるだけ希望に沿えるようにして支援している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者一人ひとりの意向や能力に応じて調理、後片付け等を職員と共に行なっている。食事が活動の場であると共に楽しみな場となるよう配慮し支援している。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴することが可能であり、利用者の体調やペース希望に沿って入浴できるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 本人の希望やもてる力、生活歴を考慮して場面づくりを行ない役割や楽しみがあるもてるように支援している。(食事の準備、後片付け、庭仕事、合唱など) | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者の希望やその日の状態に合わせて、公園への散歩、デイサービスの家「あさひ」への通い、「すこやか倶楽部」への参加等を行い戸外に出かけられるよう支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中玄関に鍵はかけていない。玄関ホールや事務所からも出入りが見えるようになっているが、人感センサーを設置して利用者の動きに配慮しながら安全をはかっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>消防署参加のもと、非難訓練を定期的に行っており、緊急連絡網も整備されている。消防通報機、火災受信機、非常警報装置、煙感知機、消火器の設置が行なわれている。地域との連携も話し合っている。</p> | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>水分摂取、栄養摂取についてはチェック表を作成して全員で確認しており、一人ひとりの必要量が確保されるように配慮、工夫している。</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>花を飾り、季節に合わせた飾り物をして居心地の良い空間づくりをしている。バリアフリーになっており、各所に手摺が配置され、階段昇降機の設置もあり利用者の安全を配慮した造りになっている。採光換気温湿度の管理も行き届いている。</p> | | |
| 30 | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室には使い慣れた生活用品や家具ベットが持ち込まれており、利用者が安全に居心地よく過ごせるように配慮、工夫している。</p> | | |

 は、重点項目。